

平成 27 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	稲野自治会
活動テーマ	災害時要援護者支援活動---/稲野町と隣接地域社会と地域教育機関のコラボレーション



(目的と動機)

1) 隣接地域社会及び地域教育機関と共に、防災減災へ向けての啓発活動と防災訓練をすることにより、単一自治会では見えない問題点、解決出来ない問題点が具体的に把握出来る。そして問題解決に向けて3者が合同で取り組むことで近隣との結びつきが強くなり、いざという時に底力を発揮する。

2) 災害時の要援護者と支援者のペア作りや、稲野町独自のハザードマップは、作成配布してきた。ソフト上、システム上では、種々の対応策は構築されているのに、実際に災害が発生した時にそれらが機能しないといった事態に陥ることがないように実戦に沿った中身のレベルアップが必要と認識した。

3) 稲野自治会自体、これまで各種防災講演会、防災訓練、炊き出し訓練を実施してきた。しかし冬に実施することが多く、かつ、参加顔ぶれは毎回大体同じで、講演会を含めて内容に斬新的なものや、楽しさがなく、子連れの若い世代を惹きつける要素に欠けていた。

(成果)

- 1) 予想を大きくオーバーする5000人もの方に来場して頂き、防災減災活動に触れて頂いたこと。
- 2) 災害発生時、単一自治会のみで対応出来ることは限られている。半年に亘る種々打合わせ準備活動で培われた、稲野町と隣接地域社会と地域教育機関の協力体制は何物にも替えがたい
- 3) あらかじめ実施内容を決めておいた訓練でも、打合わせ通りに事が運ばないのを実感したことにより、日頃の準備、活動がいかに大切かを実感した。